

施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

将来像	次代を担う『人財』豊かな長崎県	作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	61	P
基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	施策主管所属	子ども政策局子ども未来課			
施策名	(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援	課(室)長名	課長 濱野 靖			
		施策関係所属(部局名課名)	教育庁体育保健課			

1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>結婚・妊娠・出産への支援と、子どもの健やかな育ちを支援するとともに、家庭や地域の養育力を向上させ、子育て家庭に対する経済的支援など切れ目ない支援を行います。また、妊娠や出産に関する正しい知識の教育の普及を行います。</p>	<p>【めざす姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが健やかに成長できる社会が実現している。 ・保護者の子育て力を高め、子育て家庭に切れ目ない支援が行われている。 ・いのちを重んじ、心豊かでたくましい子どもが育っている。
---	--

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価

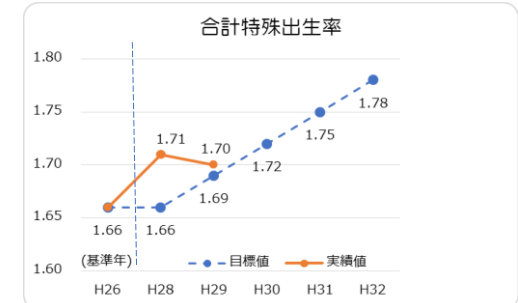
■ A : 順調 □ B : やや遅れている □ C : 遅れている

<<これまでの成果>>

- データマッチングの運用や縁結び隊（婚活サポーター）の活動などの長崎県婚活サポートセンターの取組により、34組が成婚に至った。
- 一時預かり事業、病児保育事業、延長保育事業の補助対象施設がH26の503か所からH29は687か所になるなど、保護者や地域のニーズ、実情に応じた各種保育サービスの充実を図ることができた。
- 教職員及び母子保健関係職員を対象とした性に関する指導者養成研修を開催し、指導力向上に努めるとともに、産婦人科医や助産師を学校に派遣し、性に関する講演会等を実施することで、命の尊さや家庭生活、家族の大切さなど生徒に考えさせることができた。

<<進捗状況に課題がみられる分野>>

- 各市町が策定する待機児童解消加速化プランに基づき、保育所・認定こども園の施設整備や認可外保育施設の認可化などによる保育の定員増に取り組んだが、雇用情勢の改善による就業機会の拡大や子ども・子育て支援新制度における入所要件の緩和等によって保育需要が増大したことにより、平成29年の待機児童数は平成28年の70人から120人増加し、190人となった。



3 施策の成果指標の進捗状況

指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
合計特殊出生率	目標値①		1.66	1.69	1.72	1.8 (1.75)	1.8 (1.78)	1.8 (H32年度)	平成29年の合計特殊出生率は1.70となり、途中の微減はあるものの、最低値(1.45)を示した平成17年以降、上昇傾向を保っており、都道府県別順位も平成28年同様、全国4位と高い水準にある。 なお、平成29年度に実施した合計特殊出生率の要因分析により、県民の希望出生率の実現に向けては有配偶率の上昇が最優先課題であることが明らかとなったため、県民が希望する結婚の実現に向けて、これまで以上に支援体制を強化する必要がある。
	実績値②	1.66 (H26年度)	1.71	1.70				進捗状況	
	②/①		103%	100%				順調	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●データマッチングシステムについて、平成28年度はオープニングキャンペーンとして登録料を1年間に限り無料としていたため、目標値（500人）を大きく上回る1,121人の会員登録があったが、無料期間終了後の退会者が一定数生じたことから、平成29年度末時点では会員数は813人に止まっており、会員増に向けた取組が必要である。

●婚活イベントを開催し、結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供している“ながさきめぐりあい事業”について、成婚報告がシステム化されていないこともあり、成果を十分に把握できていない。

●各市町が策定する待機児童解消加速化プランに基づき、保育所・認定こども園の施設整備や認可外保育施設の認可化などによる保育の定員増に取り組んだが、雇用情勢の改善による就業機会の拡大や子ども・子育て支援新制度における入所要件の緩和等によって保育需要が増大したことにより、平成28年度以降、一定数の待機児童が生じていることから、引き続き、保育の定員増や保育士の確保に向けた取組を推進する必要がある。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

●今後、市町や企業等と連携して婚活支援事業の推進体制を強化し、効果的な周知活動や支援策の充実などに取り組むことにより、データマッチングシステムの会員や縁結び隊（婚活サポーター）の増加を図るとともに、社会全体で結婚を応援する機運の醸成に努める。

●婚活イベントの主催者（めぐりあい応援隊）と連携し、これまで以上に成婚カップルから報告を得られるような仕組みを構築するとともに、イベント内容の充実を図り、新規参加者の獲得に努める。

●待機児童の解消に向け、市町の子育て安心プラン実施計画の着実な実施による保育の受け皿整備とともに、新卒者対策の充実や潜在保育士の掘り起し体制の構築等による保育の担い手確保に努める。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「結婚、妊娠、出産の支援」	事業群評価調書5-(1)-①	参照
事業群②「子どもや子育て家庭への支援」	事業群評価調書5-(1)-②	(①②③) 参照
事業群③「命の尊さや家庭生活・家族の大切さなど、自分の将来を考えさせる教育の普及」	事業群評価調書5-(1)-③	参照